
	学校だより No. 9 青森市立佃小学校 令和4年11月29日発行	全校児童数464名 男子 228名 女子 236名
	◆教育目標◆ あかるく・かしこく・たくましく	

つくだ むかしばなし

校長 山田 彰利

11月7日から、「佃小秋の読書週間」と銘打って、図書部を中心に様々な取組が行われました。私も読み聞かせを担当し、9日には1年生に「どっこいしょ」、そして10日の全校朝会では「春の空気(かまり)」という、青森県に伝わる昔話を津軽弁で読んでみました。

2週間後の全校朝会、今度は、校長室に残る写真や文集、古い卒業アルバムなどを基に、佃小学校の昔話をさせてもらいました。だいたい次のような内容です。

本校は、昭和32年(1957年)に新設校として創立しました。校長室前の写真を見ると、当時は木造2階建てで、周囲にはポツリポツリと住宅が見える程度でした。それが、13年後の昭和45年(1970年)の航空写真では、ほぼ空き地が無い状態です。宅地化が急激に進んだことが分かります。この木造校舎は、現在の校庭の場所に3棟並んで建てられています。その後、校舎の老朽化に伴い、現在のA棟、次いでB棟と体育館が建てられ、平成2年(1990年)に現在の姿になっています。

また、校長室には、「文集つくだ」の創刊号も残っています。1960とあるので、創立4年目の創刊です。当時の成田繁七校長からは、次のような巻頭言が寄せられています。

うまれてくる	あたらしく	うつくしい	つよ	えんぴつ	ほそい	ちいさい	いっぽんの	かこう	ずばりと	えんぴつで	しっかりと	ひとつ	さげびも	かなしい	うれしい	ずばりと
くる		こころが	ころが	から					かこう		にぎった	を	ある	がある	がある	かこう

現在、本校でも学校文集の制作真っ只中です。言葉一つ一つには、その言葉を選んで使ったその子の思いが必ず隠れています。どんな文集になるか、楽しみにしててください。

文集以外にも本校では、「書く」活動を大切にしています。授業後に一時間の自分の学び方について振り返りを書く活動、単元の学習を振り返り少し長めの文を書く活動、調べたことを新聞にまとめて書く活動、読んだ本を友達に紹介するために書く活動、一日の終わりに自分の生活を振り返り書く活動など、学年・学級に応じて様々です。「書く」ことには、必ず思考を伴います。また「振り返り」のためには、一度自分の姿を俯瞰することが必要です。このことが、子供の精神的な成長を促していく、そう考えて大切にしている活動です。